

脱臭装置検討による比較表

KALMOR®

区分	名称	方式 (原理)	温度条件	費用		環境負荷			判定
				初期	ランニング	CO2	廃棄物	水使用	
脱臭	燃烧 脱臭装置	熱分解	100~200℃ (高温可)	×	×	×	○	○	C
	プラズマ装置	酸化分解	100~200℃ (高温可)	△	△	○	○	○	
	活性炭 フィルター	吸着 (乾式)	40℃以下	○	△	○	△	○	B
	スクラバー (水処理)	吸着 (乾式)	60℃以下	△	△	○	○	△	
消臭	消臭剤 噴霧装置	化学分解	100℃以下	○	○	○	○	△	A